

分野別プログラム表

分野	プログラム	テーマ	企画者	発表者	参加方法/視聴方法				12月4日(土)	12月5日(日)			
					オンサイト	オンサイト会場	リアルタイム・オンライン配信 (ライブ配信)	オンデマンド		9:00~ 10:30	10:50~ 12:20	13:20~ 14:50	15:10~ 16:40
① 「児童相談所」関連プログラム	大会企画プログラム	児童虐待をふくめた死因究明の高精度化とChild Death Reviewの質的保証について	清水 直樹	沼口 敦 他	○	G4	○	○	○				
	学会企画シンポジウム2	「児童虐待防止制度の20年を振り返る」虐待に関する制度検討委員会	酒田 雄久	野田 正人 他	○	G303	○	○				○	
	大会企画シンポジウム2	どの子どもも取り残さない。地域多機関協働による早期支援について —児童相談所と子ども家庭総合支援拠点、子育て世代包括支援センターとの有機的連携の在り方—	加藤 曜子 高橋 ゆええ	中板 育美 他	○	G304	○	○	○				
	大会企画シンポジウム4	コロナ禍の子ども虐待とネグレクト—「誰ひとり取り残さない」顕在化した課題をポストコロナに向けて—	田上 幸治	久保田 まり 他	○	G4	○	○				○	
	大会企画シンポジウム7	誰ひとり取り残さない！ CAC（Children's Advocacy Center）モデルの構築に向けて	田上 幸治	山田 不二子 他	○	G304	○	○				○	
	大会企画シンポジウム9	児童家庭福祉を担う職員の人材育成	増沢 高 藤林 武史	山縣 文治 他	○	G4	○	○					○
	大会企画シンポジウム10	児童福祉法を概観する	高橋 温	吉田 恒雄 他	○	G304	○	○					○
	教育講演 5-1	AHTを見逃さないために		丸山 朋子	○	G404	○	○	○				
	教育講演 5-2	病院でのMDTによるAHTの対応（神奈川県でもモデルについて）		田上 幸治	○	G404	○	○	○				
	教育講演 8-1	子どもの口腔状態が発信するSOS		番西 克之	○	G404	○	○					○
	教育講演 8-2	子ども虐待への歯科からのアプローチ ～予防 発見 事後支援を3つの柱として～		加藤 尊巳	○	G404	○	○					○
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーションスキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○ (講義部分のみ)				○	
	スポンサードセッション	虐待による乳幼児頭部外傷(AHT)の刑事司法手続き	認定特定非営利活動法人チャイルドファーストジャパン	ジョエル・モレノ 他	○	G302		○				○	
	スポンサードセッション	子ども基本法と子どもコミッショナー/オムズブersonの実現に向けて	日本財団	奥山 真紀子 他	○	G302		○				○	
	一般演題 口頭発表 1	O1-01～O1-06				○	G319					○	
	一般演題 口頭発表 2	O1-07～O1-10, O1-12, O1-13				○	G319					○	
	一般演題 口頭発表 3	O1-11, O1-14, O1-15				○	G319					○	
	一般演題 ポスター発表	P1-01～P1-07											○
	公募シンポジウムS1-02	自治体が新たに児童相談所を設置する際の社会資源の確保について—特別区児童相談所の広域調整から—	川並 利治		○	G301	○	○					○
	公募シンポジウムS1-03	児童相談所における性的虐待対応と3機関協同面接の課題 ～子どもの福祉を守る機関としての役割～	鈴木 浩之		○	G301	○	○				○	
	公募シンポジウムS1-05	児童相談所の第三者評価の実施に向けて～モデル実施の結果から～	安部 計彦		○	G316	○	○				○	
	公募シンポジウムS1-06	一時保護中の子どもの意見表明権 ～岡山県での取り組みの広がりについて～	薬師寺 真		○	G320	○	○					○
	公募シンポジウムS1-07	児童相談所一時保護所及び一時保護機能を有する児童養護施設の人材育成・研修体系のあり方に関する研究	鈴木 勲		○	G314	○	○					○
	公募シンポジウムS1-09	心理職が児童福祉司を経験することで見てきたもの—児童相談所の心理職の人材育成について考える—	南 博典		○	G301	○	○				○	
	公募シンポジウムS1-10	気づきとエンパワメントにつながるDV被害者と子どもへの面接—DV・児童虐待への介入と支援・ケアを考える—	増井 香名子		○	G316	○	○				○	
	公募シンポジウムS1-11	一時保護における子どもの意見表明権～アドボケートを導入した4自治体から学ぶ	栄留 里美		○	G301	○	○				○	
	公募シンポジウムS1-12	児童相談所と施設をつなぐ民間団体が推進する有機的な支援と親子理解 ～家族再統合支援の15年目を迎えて～	河合 克子		○	G302	○	○					○
	公募シンポジウムS1-13	虐待による乳幼児頭部外傷に求められる支援とは	根ヶ山 裕子		○	G313	○	○					○
	公募シンポジウムS1-14	一時保護所における子どもの通学支援について	稲垣 由子		○	G317	○	○				○	
	公募シンポジウムS1-15	今だからこそ、虐待対応の最前線にサインズ・オブ・セーフティ・アプローチ	阿部 弘美		○	G316	○	○					○
公募シンポジウムS1-16	子どもの性問題行動の変化を促す家族機能のあり方と保護者への介入：児童相談所におけるグループ実践から	島 ゆみ		○	G313	○	○				○		
公募シンポジウムS1-17	これからの児童相談所の法的対応について ～今後の法改正を見据えて～	安保 千秋		○	G316	○	○				○		
公募シンポジウムS1-18	感染症の影響下における児童相談所でのグループプログラム実施の意義と課題：MY TREEと性問題行動治療教育	野坂 祐子		○	G313	○	○				○		
公募シンポジウムS3-22	児童相談所にも市区町村にも役立つ虐待医学の基礎知識：子どもの命を救うために、虐待を見逃さないために	田崎 みどり		○	G317	○	○					○	
公募シンポジウムS5-37	司法面接（協同面接）の現状と課題—被害者供述の信用性確保と子どもの権利擁護を両立するために	木田 秋津		○	G414	○	○				○		
公募シンポジウムS7-49	休罰・虐待をなくし子どもの権利を保障するために	森 保道		○	G418	○	○				○		
オンデマンドのみの 公募シンポジウム	S1-01, S1-04, S1-08, S1-19						○						

分野別プログラム表

分野	プログラム	テーマ	企画者	発表者	参加方法/視聴方法				12月4日(土)	12月5日(日)			
					オンサイト	オンサイト会場	リアルタイム・オンライン配信 (ライブ配信)	オンデマンド		9:00~ 10:30	10:50~ 12:20	13:20~ 14:50	15:10~ 16:40
② 「教育」関連プログラム	大会企画シンポジウム1	「誰ひとり取り残さない援助」～高齢虐待児の自立教育支援～	古屋 茂 大宮 美智枝	高橋 温 他	○	G303	○	○	○				
	大会企画シンポジウム3	誰ひとり取り残さない持続可能な校内支援体制づくり～不適応を起こした疑犯虐待児への支援プロセス（模擬事例）から～	古屋 茂	後藤 和泉 他	○	G303	○	○			○		
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○ (講義部分のみ)			○		
	一般演題 口頭発表7	O2-16～O2-19			○	G320						○	
	一般演題 ポスター発表	P2-08, P2-09						○					
	公募シンポジウムS1-14	一時保護所における子どもの通学支援について	稲垣 由子		○	G317		○			○		
	公募シンポジウムS4-24	「自分の気持ちを話せる子どもを育てる養育者」とは？福祉×国語×デザイン「デザイン国語レッスン」の挑戦	伊藤 嘉余子		○	G318		○			○		
	公募シンポジウムS4-32	児童養護施設からの大学等進学について～就学支援新制度の課題と求められる支援～	浦田 雅夫		○	G315						○	
	公募シンポジウムS7-48	重層的「協働実践」による外国人家庭への予防的支援プログラム開発～やさしい日本語も活用した新しい支援～	山田 幸恵		○	G418		○			○		
	公募シンポジウムS7-49	体罰・虐待をなく子どもの権利を保障するために	森 保道		○	G418		○			○		
公募シンポジウムS12-67	子どもの権利を子どもはどう伝えるか？～福岡市の新・権利ノートづくり～	橋本 愛美		○	G417						○		
③ 「医療」関連プログラム	大会企画プログラム	児童虐待をふくめた死因究明の高精度化とChild Death Reviewの質的保証について	清水 直樹	沼口 敦 他	○	G4	○	○	○				
	大会企画シンポジウム4	コロナ禍の子ども虐待とネグレクト～「誰ひとり取り残さない」顕在化した課題をポストコロナに向けて～	田上 幸治	久保田 まり 他	○	G4	○	○			○		
	大会企画シンポジウム5	虐待リスクのある親子への保育所における早期支援： ～「誰ひとり取り残さない」アタッチメント形成を中心とした多職種協働による発達支援～	久保田 まり 山田 一子	汐見 稔幸 他	○	G4	○	○				○	
	大会企画シンポジウム7	誰ひとり取り残さない！CAC（Children's Advocacy Center）モデルの構築に向けて	田上 幸治	山田 不二子 他	○	G304		○				○	
	教育講演 5-1	AHTを見逃さないために		丸山 朋子	○	G404	○	○			○		
	教育講演 5-2	病院でのMDTによるAHTの対応（神奈川県子どもモデルについて）		田上 幸治	○	G404	○	○			○		
	教育講演 8-1	子どもの口腔状態が発信するSOS		香西 克之	○	G404	○	○					○
	教育講演 8-2	子ども虐待への歯科からのアプローチ ～予防 発見 事後支援を3つの柱として～		加藤 尊巳	○	G404	○	○					○
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○ (講義部分のみ)			○		
	スポンサーセッション	虐待による乳幼児頭部外傷(AHT)の刑事司法手続き	認定特定非営利活動法人チャイルドファーストジャパン	ジョエル・モレノ 他	○	G302		○			○		
	スポンサーセッション	子ども基本法と子どもコミッション/オプズパソンの実現に向けて	日本財団	奥山 眞紀子 他	○	G302		○				○	
	一般演題 口頭発表5	O3-20～O3-25			○	G320					○		
	一般演題 口頭発表6	O3-26～O3-31			○	G320						○	
	一般演題 ポスター発表	P3-10～P3-20						○					
	公募シンポジウムS3-20	臨床と研究の融合～脳科学的視点から子どもの発達を考える	水島 栄		○	G317		○			○		
	公募シンポジウムS3-21	医療機関における医療を要する子どもの虐待	川口 めぐみ		○	G317		○				○	
	公募シンポジウムS3-22	児童相談所にも市区町村にも役立つ虐待医学の基礎知識：子どもの命を救うために、虐待を見逃さないために	田崎 みどり		○	G317		○					○
	公募シンポジウムS1-03	児童相談所における性的虐待対応と3機関協働面接の課題 ～子どもの福祉を守る機関としての役割～	鈴木 浩之		○	G301		○			○		
	公募シンポジウムS1-13	虐待による乳幼児頭部外傷に求められる支援とは	根ヶ山 裕子		○	G313							○
	公募シンポジウムS4-25	産前・産後支援におけるソーシャルワークと医療との協働連携体制～母子生活支援施設の活用に向けた課題～	中島 尚美		○	G314					○		
公募シンポジウムS5-37	司法面接（協働面接）の現状と課題～被害者供述の信用性確保と子どもの権利擁護を両立するために	木田 秋津		○	G414					○			
公募シンポジウムS6-40	社会的ハリスク妊娠把握ツール(SLIMスコア)開発に向けた前向き研究	光田 信明		○	G414							○	

分野別プログラム表

分野	プログラム	テーマ	企画者	発表者	参加方法/視聴方法				12月4日(土)	12月5日(日)				
					オンサイト	オンサイト会場	リアルタイム・オンライン配信 (ライブ配信)	オンデマンド		9:00~ 10:30	10:50~ 12:20	13:20~ 14:50	15:10~ 16:40	
④ 「児童福祉施設」関連プログラム	大会企画シンポジウム1	「誰ひとり取り残さない援助」～高齢虐待児の自立教育支援～	古屋 茂 大宮 美智枝	高橋 温 他	○	G303	○	○	○					
	大会企画シンポジウム6	子どもたちのために私たちができること～里親と児童福祉施設の協働から考える～	鶴岡 一晴 坪井 ひとし	藤井 康弘 他	○	G304	○	○			○			
	大会企画シンポジウム8	児童福祉施設における虐待を受けた子どもの心理的支援について	高田 治	西田 篤 他	○	G303	○	○					○	
	大会企画シンポジウム10	児童福祉法を概観する	高橋 温	吉田 恒雄 他	○	G304	○	○					○	
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○ (講義部分のみ)			○			
	スポンサーセッション	子ども基本法と子どもコミッショナー/オンズバーソンの実現に向けて	日本財団	奥山 眞紀子 他	○	G302		○				○		
	一般演題 口頭発表9	O4-32～O4-37				○	G413				○			
	一般演題 口頭発表11	O4-38～O4-41				○	G413							○
	一般演題 ポスター発表	P4-21～P4-27												○
	公認シンポジウムS4-23	児童養護施設等における「児童間性暴力」0“へのロードマップ”～予防・早期発見・効果的介入のために～	遠藤 洋二			○	G314				○			
	公認シンポジウムS4-24	「自分の気持ちを持てる子どもを育てる養育者」とは？福祉×国語×デザイン「デザイン国語レッスン」の挑戦	伊藤 嘉余子			○	G318				○			
	公認シンポジウムS4-25	産前・産後支援におけるソーシャルワークと医療との協働連携体制―母子生活支援施設の活用に向けた課題―	中島 尚美			○	G314				○			
	公認シンポジウムS4-26	Manchester Child Attachment Story Task(MCAST)を使った児童期のアタッチメントの測定	森 茂起			○	G314						○	
	公認シンポジウムS4-27	ライフストーリーワークの基本に立ち返る ―実践から見えてきたこと―	才村 眞理			○	G318				○			
	公認シンポジウムS4-28	児童家庭支援センターによる要保護児童の在宅支援―横浜型児童家庭支援センターのケアワークと相談支援―	武田 玲子			○	G313						○	
	公認シンポジウムS4-29	自立援助ホーム退居者調査からみえる集積する困難	長瀬 正子			○	G315				○			
	公認シンポジウムS4-30	ケアラーバー全国調査の到達点と課題	永野 咲			○	G315				○			
	公認シンポジウムS4-31	虐待・ネグレクトの世代間伝達を予防する施設養育とは？～子どもたちの将来の健康的な子育てのために～	相澤 林太郎			○	G318		○			○		
	公認シンポジウムS4-32	児童養護施設からの大学等進学について―就学支援新制度の課題と求められる支援―	浦田 雅夫			○	G315						○	
	公認シンポジウムS4-33	ナラティブ・エクスプロージャー・セラピーの児童福祉領域での実践	中村 有生			○	G315							○
公認シンポジウムS4-34	児童自立支援施設における指導プログラムの複合的取り組みと意識変化の推進	上松 幸一			○	G318				○			○	
公認シンポジウムS4-35	多角的な視点から子ども家庭福祉領域における福祉人材の確保・育成・定着を考える	安井 飛鳥			○	G401				○				
公認シンポジウムS7-49	体罰・虐待をなく子どもの権利を保障するために	森 保道			○	G418					○			
⑤ 「司法」関連プログラム	大会企画プログラム	児童虐待をふくめた死因究明の高精度化とChild Death Reviewの質的保証について	清水 直樹	沼口 敦 他	○	G4	○	○	○					
	学会企画シンポジウム2	「児童虐待防止制度の20年を振り返る」虐待に関する制度検討委員会	濱田 雄久	野田 正人 他	○	G303	○	○				○		
	大会企画シンポジウム7	誰ひとり取り残さない！CAC（Children's Advocacy Center）モデルの構築に向けて	田上 幸治	山田 不二子 他	○	G304	○	○				○		
	大会企画シンポジウム10	児童福祉法を概観する	高橋 温	吉田 恒雄 他	○	G304	○	○					○	
	教育講演 5-1	AHTを見逃さないために		丸山 朋子	○	G404	○	○			○			
	教育講演 5-2	病院でのMDTによるAHTの対応（神奈川子どもモデルについて）		田上 幸治	○	G404	○	○			○			
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○ (講義部分のみ)			○			
	スポンサーセッション	虐待による乳幼児頭部外傷(AHT)の刑事司法手続き	認定特定非営利活動法人チャイルドファーストジャパン	ジョエル・モレノ 他	○	G302		○			○			
	スポンサーセッション	子ども基本法と子どもコミッショナー/オンズバーソンの実現に向けて	日本財団	奥山 眞紀子 他	○	G302		○				○		
	一般演題 口頭発表7	O5-42				○	G320					○		
	公認シンポジウムS5-36	子どもの心身を守るための面会交流～家庭裁判所の面会交流における当事者の声と、海外の法制度から考える	熊上 崇			○	G414				○			
	公認シンポジウムS5-37	司法面接（協同面接）の現状と課題―被害者供述の信用性確保と子どもの権利擁護を両立するために	木田 秋津			○	G414					○		
	公認シンポジウムS1-03	児童相談所における性的虐待対応と3機関協同面接の課題 ～子どもの福祉を守る機関としての役割～	鈴木 浩之			○	G301				○			
	公認シンポジウムS1-17	これからの児童相談所の法的対応について ～今後の法改正を見据えて～	安保 千秋			○	G316						○	

分野別プログラム表

分野	プログラム	テーマ	企画者	発表者	参加方法/視聴方法				12月4日(土)	12月5日(日)			
					オンサイト	オンサイト会場	リアルタイム・オンライン配信 (ライブ配信)	オンデマンド		9:00~ 10:30	10:50~ 12:20	13:20~ 14:50	15:10~ 16:40
⑥ 「母子保健」 関連プログラム	大会企画シンポジウム2	どの子どもも取り残さない。地域多機関協働による早期支援について —児童相談所と子ども家庭総合支援拠点、子育て世代包括支援センターとの有機的連携の在り方—	加藤 曜子 高橋 ゆきえ	中板 育美 他	○	G304	○	○		○			
	大会企画シンポジウム4	コロナ禍の子ども虐待とネグレクト—「誰ひとり取り残さない」顕在化した課題をポストコロナに向けて—	田上 幸治	久保田 まり 他	○	G4	○	○			○		
	大会企画シンポジウム5	虐待リスクのある親子への保育所における早期支援： —<誰ひとり取り残さない> アタッチメント形成を中心とした多職種協働による発達支援—	久保田 まり 山田 一子	汐見 稔幸 他	○	G4	○	○				○	
	大会企画シンポジウム10	児童福祉法を概観する	高橋 温	吉田 恒雄 他	○	G304	○	○					○
	教育講演 5-1	AHTを見逃さないために		丸山 朋子	○	G404	○	○		○			
	教育講演 5-2	病院でのMDTによるAHTの対応（神奈川こどもモデルについて）		田上 幸治	○	G404	○	○		○			
	教育講演 8-1	子どもの口腔状態が発信するSOS		香西 克之	○	G404	○	○					○
	教育講演 8-2	子ども虐待への歯科からのアプローチ—予防 発見 事後支援を3つの柱として—		加藤 尊巳	○	G404	○	○					○
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○			○		
	スポンサーセッション	子ども基本法と子どもコミッショナー/オンズパーソンの実現に向けて	日本財団	奥山 眞紀子 他	○	G302		○				○	
	一般演題 口頭発表10	O6-43, O6-44			○	G413						○	
	一般演題 ポスター発表	P6-28, P6-29						○					
	公認シンポジウムS6-38	保健師の母子保健活動における虐待予防の重要性を再確認する	大場 エミ		○	G414							○
	公認シンポジウムS6-40	社会的ハリスク妊娠把握ツール(SLIMスコア)開発に向けた前向き研究	光田 信明		○	G414						○	
	公認シンポジウムS6-41	コロナ禍の中での多胎家庭の現状と多胎家庭支援について考える	布施 晴美		○	G402		○		○			
	公認シンポジウムS6-42	産前からの児童虐待予防プログラム—産前からの親教育プログラムによる試み—	柴田 俊一		○	G402		○		○			
	公認シンポジウムS7-49	休罰・虐待をなくし子どもの権利を保障するために	森 保道		○	G418		○		○			
	公認シンポジウムS8-53	地域における家庭養育を促進する妊娠期からの有機的な連携について	中川 千恵美		○	G416		○		○			
	オンデマンドのみの 公認シンポジウム	S6-39						○					
	⑦ 「子育て支援」 関連プログラム	大会企画シンポジウム4	コロナ禍の子ども虐待とネグレクト—「誰ひとり取り残さない」顕在化した課題をポストコロナに向けて—	田上 幸治	久保田 まり 他	○	G4	○	○			○	
大会企画シンポジウム5		虐待リスクのある親子への保育所における早期支援： —<誰ひとり取り残さない> アタッチメント形成を中心とした多職種協働による発達支援—	久保田 まり 山田 一子	汐見 稔幸 他	○	G4	○	○				○	
大会企画ワークショップ		伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○			○		
スポンサーセッション		子ども基本法と子どもコミッショナー/オンズパーソンの実現に向けて	日本財団	奥山 眞紀子 他	○	G302		○				○	
一般演題 口頭発表 8		O7-45, O7-46, O7-48～O7-51			○	G413				○			
一般演題 口頭発表10		O7-47, O7-52, O7-53			○	G413						○	
一般演題 ポスター発表		P7-30～P7-36						○					
公認シンポジウムS7-43		子どもの声を聴く支援—要対協の活用、当事者の声、ピアサポートの活用	村上 晴彦		○	G418		○					○
公認シンポジウムS7-44		子どもと家族を支えるラップアラウンドケア・コーディネーター養成研修による学びと実装への道筋	久保 樹里		○	G415				○			
公認シンポジウムS7-45		保育現場における予防も含めた児童虐待対応について考える—早期発見・早期連携をめざして—	灰谷 和代		○	G415					○		
公認シンポジウムS7-47		コロナ禍で起きている変化と子どもたちを守るためにできること	白田 美奈子		○	G418		○				○	
公認シンポジウムS7-48		重層的「協働実践」による外国人家庭への予防的支援プログラム開発—やさしい日本語も活用した新しい支援—	山田 幸恵		○	G418		○		○			
公認シンポジウムS7-49		休罰・虐待をなくし子どもの権利を保障するために	森 保道		○	G418		○		○			
オンデマンドのみの 公認シンポジウム		S7-46, S7-50						○					

分野別プログラム表

分野	プログラム	テーマ	企画者	発表者	参加方法/視聴方法				12月4日(土)	12月5日(日)			
					オンサイト	オンサイト会場	リアルタイム・オンライン配信 (ライブ配信)	オンデマンド		9:00~ 10:30	10:50~ 12:20	13:20~ 14:50	15:10~ 16:40
⑧ 「市町村」 関連 プロ グラ ム	学会企画シンポジウム2	「児童虐待防止制度の20年を振り返る」虐待に関する制度検討委員会	瀧田 雄久	野田 正人 他	○	G303	○	○					○
	大会企画シンポジウム2	どの子どもも取り残さない。地域多機関協働による早期支援について —児童相談所と子ども家庭総合支援拠点、子育て世代包括支援センターとの有機的連携の在り方—	加藤 曜子 高橋 ゆきえ	中板 育美 他	○	G304	○	○		○			
	大会企画シンポジウム5	虐待リスクのある親子への保育所における早期支援： —くまのり取り残さない—アタッチメント形成を中心とした多職種協働による発達支援—	久保田 まり 山田 一子	汐見 稔幸 他	○	G4	○	○				○	
	大会企画シンポジウム9	児童家庭福祉を担う職員の人材育成	増沢 高 藤林 武史	山縣 文治 他	○	G4	○	○					○
	大会企画シンポジウム10	児童福祉法を概観する	高橋 温	吉田 恒雄 他	○	G304	○	○					○
	教育講演 8-1	子どもの口腔状態が発信するSOS		香西 克之	○	G404	○	○					○
	教育講演 8-2	子ども虐待への歯科からのアプローチ ～予防 発見 事後支援を3つの柱として～		加藤 尊巳	○	G404	○	○					○
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○			○		
	スポンサーセッション	子ども基本法と子どもコミッショナー/オンズパースンの実現に向けて	日本財団	奥山 眞紀子 他	○	G302		○				○	
	一般演題 口頭発表4	O8-54～O8-58			○	G319							○
	一般演題 ポスター発表	P8-37, P8-38						○					
	公認シンポジウムS8-51	市町村における児童虐待対応の困難さへのアプローチ～支援につなぐ工夫を探って～	八木 安理子		○	G401		○					○
	公認シンポジウムS8-52	「市町村が望む児童相談所からの支援」機関連携・個別ケース検討会議等の改善に取り組み県市合同報告	矢後 秀明		○	G401		○			○		
	公認シンポジウムS8-53	地域における家庭養育を促進する妊娠期からの有機的な連携について	中川 千恵美		○	G416					○		
	公認シンポジウムS8-54	親子が健やかに家庭で生活できるプログラムの政策評価	和田 一郎		○	G416						○	
	公認シンポジウムS8-55	子どもの安全と家庭支援～Differential Responseと子ども家庭総合支援拠点の未来像	畠山 由佳子		○	G401		○				○	
	公認シンポジウムS8-56	市区町村子ども家庭総合支援拠点の本質と具体の考察-どうやって地域資源を結び付けるのか	鈴木 秀洋		○	G416				○			
	公認シンポジウムS8-57	早期支援や早期介入を実現する国内外の子ども家庭支援政策	冢子 直幸		○	G416							○
	公認シンポジウムS3-22	児童相談所にも市区町村にも役立つ虐待医学の基礎知識：子どもの命を救うために、虐待を見逃さないために	田崎 みどり		○	G317		○					○
公認シンポジウムS7-49	体罰・虐待をなくし子どもの権利を保障するために	森 保道		○	G418		○				○		
⑨ 「民間 団体」 関連	大会企画シンポジウム1	「誰ひとり取り残さない援助」～高齢虐待被害者の自立教育支援～	古屋 茂 大宮 美智枝	高橋 温 他	○	G303	○	○		○			
	大会企画シンポジウム6	子どもたちのために私たちができること～里親と児童福祉施設の協働から考える～	鶴岡 一晴 坪井 ひとし	藤井 康弘 他	○	G304	○	○			○		
	大会企画シンポジウム8	児童福祉施設における虐待を受けた子どもの心理的支援について	高田 治	西田 篤 他	○	G303	○	○					○
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○			○		
	スポンサーセッション	子ども基本法と子どもコミッショナー/オンズパースンの実現に向けて	日本財団	奥山 眞紀子 他	○	G302		○				○	
	公認シンポジウムS9-58	子どもシェルターにおける支援の実態 ～自立援助ホーム及び一時保護所との比較～	影山 秀人		○	G415						○	
	公認シンポジウムS9-59	社会的養護の当事者リーダーを育成する ～ユース・デベロップメントの概念を基盤としたIFCAの活動を通して	粟津 美穂		○	G415							○
	公認シンポジウムS4-29	自立援助ホーム退居者調査からみえる集積する困難	長瀬 正子		○	G315				○			
	公認シンポジウムS4-30	ケアラーバー全国調査の到達点と課題	永野 咲		○	G315					○		
公認シンポジウムS7-49	体罰・虐待をなくし子どもの権利を保障するために	森 保道		○	G418		○				○		

分野別プログラム表

分野	プログラム	テーマ	企画者	発表者	参加方法/視聴方法				12月4日(土)	12月5日(日)			
					オンサイト	オンサイト会場	リアルタイム・オンライン配信 (ライブ配信)	オンデマンド		9:00~ 10:30	10:50~ 12:20	13:20~ 14:50	15:10~ 16:40
⑩ 「里親・養子縁組」関連プログラム	大会企画シンポジウム6	子どもたちのために私たちができること～里親と児童福祉施設の協働から考える～	鶴岡 一晴 坪井 ひとし	藤井 康弘 他	○	G304	○	○		○			
	大会企画シンポジウム10	児童福祉法を概観する	高橋 温	吉田 恒雄 他	○	G304	○	○					○
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○ (講義部分のみ)		○			
	スポンサードセッション	子ども基本法と子どもコミッショナー/オプズパソンの実現に向けて	日本財団	奥山 眞紀子 他	○	G302		○			○		
	一般演題 口頭発表11	O10-59, O10-60			○	G413							○
	一般演題 ポスター発表	P10-39, P10-40						○					
	公衆シンポジウムS10-60	「専門家」里親から学ぶ：里親里子クライシスからの転帰2	西澤 哲		○	G417							○
	公衆シンポジウムS10-61	「地域で子どもと家族を支える」里親ショートステイの推進	松崎 佳子		○	G419		○					○
	公衆シンポジウムS10-62	特別養子縁組あっせん～50年後を見据えた最初の5週間の協働～PART2：当事者への長期的・包括的支援	萬屋 育子		○	G419		○		○			
	公衆シンポジウムS10-63	特別養子縁組あっせん～50年後を見据えた最初の5週間の協働～PART 1：養子のアイデンティティ形成支援	白井 千晶		○	G419		○			○		
	公衆シンポジウムS10-64	特別養子縁組制度の改正の影響と今後の課題～制度改正の考え方から児童相談所長による申立て事例まで～	西郷 民紗		○	G419		○			○		
	公衆シンポジウムS10-65	子どものアドボカシーから、里親養育を考える～ナイス！な親プロジェクト～こども&おとな会議	齋藤 直巨		○	G417		○			○		
	公衆シンポジウムS10-66	里親の資質・養育技術向上に必要な要素とは～里親・里子が嘆いていたニーズの視点から～	野澤 義隆		○	G402		○			○		
公衆シンポジウムS7-49	体罰・虐待をなくし子どもの権利を保障するために	森 保道		○	G418		○			○			
⑪ 「障がい」関連プログラム	学会企画シンポジウム3	障害児虐待予防ワーキンググループ活動報告 「障害児虐待予防：家族支援の実態と今後のあり方を考える（ペアレント・トレーニングを含む）」	米山 明	光真坊 浩史 他			○	○					
	教育講演 5-1	AHTを見逃さないために		丸山 朋子	○	G404	○	○		○			
	教育講演 5-2	病院でのMDTによるAHTの対応（神奈川県子どもモデルについて）		田上 幸治	○	G404	○	○		○			
	大会企画ワークショップ	伝えにくいことを伝える～虐待を疑うときのコミュニケーション・スキル	山田 不二子	菊地 祐子	○	G302		○ (講義部分のみ)		○			
	スポンサードセッション	子ども基本法と子どもコミッショナー/オプズパソンの実現に向けて	日本財団	奥山 眞紀子 他	○	G302		○			○		
	一般演題 口頭発表7	O11-61			○	G320					○		
公衆シンポジウムS7-49	体罰・虐待をなくし子どもの権利を保障するために	森 保道		○	G418		○		○				
⑫ 「その他」のプログラム	一般演題 口頭発表3	O12-62, O12-65, O12-66			○	G319						○	
	一般演題 口頭発表4	O12-64			○	G319							○
	一般演題 口頭発表10	O12-63			○	G413						○	
	一般演題 ポスター発表	P12-41～P12-43					○						
	公衆シンポジウムS12-67	子どもの権利を子どもどう伝えるか？～福岡市の新・権利ノートづくり～	橋本 愛美		○	G417						○	
	公衆シンポジウムS12-68	犬を用いた子どもの支援（医療、児童相談所、司法場面における負担軽減にむけて）	山本 真理子		○	G420		○				○	
	公衆シンポジウムS12-69	子どもの権利擁護～社会的養護の現場での実践～	渡辺 葉一		○	G420		○				○	
	公衆シンポジウムS12-70	被虐待・ネグレクト乳幼児の精神病理に対する3軸評価法CAT-Pの開発：第2報～開発過程と有用性の検討～	青木 豊		○	G420		○		○			
	公衆シンポジウムS12-71	「沈黙」を再考する：性虐待サバイバーの実践、心理学、社会科学の3つの視点から	井上 瞳		○	G417		○		○			
	公衆シンポジウムS12-72	同意に基づく支援 – 資生堂海外研修ポランド・ベルギーから学んだこと –	大塚 斉		○	G420		○		○			
	公衆シンポジウムS12-73	子どもにバーマニシーを保障する支援を考える ～共通理念とそれぞれの役割	福井 充		○	G402		○					○

分野別プログラム表

分野	プログラム	テーマ	企画者	発表者	参加方法/視聴方法				12月4日(土)	12月5日(日)			
					オンサイト	オンサイト会場	リアルタイム・オンライン配信 (ライブ配信)	オンデマンド		9:00~ 10:30	10:50~ 12:20	13:20~ 14:50	15:10~ 16:40
全 対 象 者 向 け プ ロ グ ラ ム	12月4日(土)の全プログラム				○	G5-G8, G4	○	○	○				
	学会企画シンポジウム1	日本専門医機構認定共通講習 JaSPCAN学術集会における研究倫理の現状と対応～研究倫理を「ジブンゴト」として考える～	御牧 信義	徳増 裕直 他	○	G4	○	○		○			
	教育講演 1-1	日本における児童虐待の現状と課題		川崎 二三彦	○	G403	○	○		○			
	教育講演 1-1	海外諸国における児童虐待の現状		増沢 高	○	G403	○	○		○			
	教育講演 2-1	小児期の逆境体験と長期的予後		藤原 武男	○	G403	○	○			○		
	教育講演 2-2	トラウマ・インフォームドケア		亀岡 智美	○	G403	○	○			○		
	教育講演 3-1	子どもの権利条約		安西 敦	○	G403	○	○				○	
	教育講演 3-2	児童福祉法と児童虐待防止法		鈴木 大樹	○	G403	○	○				○	
	教育講演 4-1	子ども虐待とDV		奥山 真紀子	○	G403	○	○					○
	教育講演 4-2	子ども虐待重大事例に見るDV		杉山 香	○	G403	○	○					○
	教育講演 6-1	社会的養護当事者からの発信		THREE FLAGS	○	G404	○	○			○		
	教育講演 6-2	当事者としての情報発信をする理由：対談		渡辺 久子 他	○	G404	○	○			○		
	教育講演 7-1	SDGsとGPeVAC (Global Partnership to End Violence Against Children)について		大野 容子	○	G404	○	○				○	
	教育講演 7-2	INSPIRE：子どもに対する暴力撤廃のための7つの戦略		柴田 哲子	○	G404	○	○					○